



ビジネス教育訓練所株式会社
代表取締役 高谷 愛美

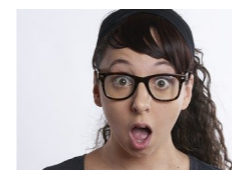
「採用について」
今年にはコロナ禍によって、様々な企業で影響が出ていると思いますが、就職活動真っ只中の学生達も大変不安を感じているようです。私どもの会社にも学生からの問い合わせが数件ありましたが、中には「御社では就職の斡旋もしてくれるのですか？」というような問い合わせもありました。何を見て連絡してきたのか、気になるところではありますが、メディアで「内定取消」や大手企業が次々と「採用縮小」と報道をしていたこともあり「はたして就職出来るだろうか？」と不安になったとしても不思議ではありません。今まで売り手市場だった新卒採用市場が、コロナウイルスの影響で一気に買い手市場になる可能性も出てきました。良い人財を採用したい中小企業にとってはチャンスとも言えますが、学生達にとつては想像を超える衝撃だったと思います。今はオンラインで面接が出来る会社も増えていますが、会社訪問もしづらい状況では、会社の雰囲気を知るのも困難と言えるでしょう。コロナの影響で想定外の動きとなり、就職活動に遅れをとった人もいます。私どもは、しっかり前を向き、頑張っただけで欲しいと思います。私どもも学生達と向き合い、良い人財を迎え入れようと体制を整えています。

閃光

BUSINESS KYOIKU KUNRENUO PUBLIC PAPER

発行元
ビジネス教育訓練所株式会社
令和二年 長月号

Business



実は逆効果だった!?間違ったストレス解消法

ストレス社会と言われる現代。ことコロナ禍では、色々と制限もあり、余計にストレスも溜まるものです。ストレス解消で「たまにはパーッと！」のつもりが、却ってストレスを溜める原因となっていたらどうでしょう？

今回はアメリカ心理学会が発表している、ストレス解消のつもりが、逆にストレスを増やしてしまうのではないかと項目9つについて紹介します。

*

- 1. ギャンブル**
リスクとリターンのドキドキ感がたまらないと言っても、意外と脳を酷使しています。最近ではスマホゲームでも近いことが起きていると言われています。
- 2. ショッピング**
あれもこれもと衝動買い、後に

なって後悔することもあります。

- 3. タバコ**
タバコを吸うとイライラが解消する…でもそれはニコチンが切れた依存症の反応です。体にも財布にも地味に効いてきます。
- 4. お酒**
やけ酒や深酒は、翌日のパフォーマンスにも影響します。酔った勢いでが思わぬトラブルになることもあります。
- 5. やけ食い**
食べ過ぎざると後悔します。又、不摂生が続くと肥満となり、周りの評価を下げたり、ダイエットのストレスもついてきます。
- 6. テレビゲーム**
無駄な時間を費やしてしまったと後で後悔することがあります。
- 7. ネットサーフィン**
時間の浪費もありますが、他人の

SNSに対する妬み、嫉みから、他人を誹謗中傷する人もいます。

- 8. テレビを見る**
気がつくとテレビをつけて、気がつくともうこんな時間ということもあります。
- 9. 映画**
時間の浪費という問題もありますが、見る内容によってストレスになるという場合もあります。
*
適度に行う分には問題ありませんが、ストレスが溜まっている時に行くと悪い意味ではまり込んでしまいますので、始める前に時間等の制限を設けたり、目的を持って行って下さい。ストレス解消で個人的に私がお勧めなのは、運動、読書、掃除、瞑想です。前向きな気持ちになりますので、是非試してみてください。(吉田)



創業者三塚信二追悼企画 三塚語録

三塚語録では、創業者三塚信二が生前よく口にしていた言葉を取り上げ、社員たちの思い出とともに紹介して参ります。1年間複数回に分けて取り上げていく予定ですので、皆様の思い出と照らし合わせながらお読みいただけましたら幸いです。

第5回 「やってみろ」

「明日からの研修、声出しの指導をやってみろ」所長の三塚から入社3日目の私に告げられた言葉です。この一言で、私の講師助手デビューはあっさり、そして衝撃的に決まりました。今にして思えば新人に声出しの指導から行わせるのは理解出来ませんが、当時の私にとって、指導する側になるのはまだ先の事だと思っていた為、唾然としました。「練習もしていないのに無理だ」「もしかしたら冗談なのでは？」等と、色々な思いが頭の中を駆け巡りました。しかし、他の先輩や上司も本気の様子。最後は所長から「ちゃんと脇で見てるから安心してやってみろ」と言われ覚悟を決めました。

当日再度所長から「隣にいるから安心しろ」と言われ安心していましたが、いざ本番となった時に、あることに気付いてしまいました。それは、所長に見られながら指導する方が何倍もプレッシャーがかかるということ。嫌な汗をかきながらも、なんとか担当の部分を終えた時には、これまでにないほどの疲労感に襲われたのを今でも覚えています。所長は何をするにしてもまずは「やってみろ」という人でした。「小さくまとまるな」「自分で限界を決めるな」と言って常に社員を鼓舞し、様々な経験をさせてくれました。正直に言って、当時は言われたことをやるだけで精一杯

でしたし、仕事の「し」の字も知らない若造によく任せてくれたと思います。しかし、今にして思えば実践を数多く経験させて早く一人前にしようという気持ちの現れだったと理解できます。今後も新型コロナウイルス初め様々な困難が待ち構えていると思いますが、壁にぶつかり迷った時こそ、「やってみろ」の精神で挑戦していこうと想います。



おすすめ図書コーナー

『カルピスをつくった男 三島海雲』
著 山川 徹

カルピスと言えば皆さんも一度は飲んだことがあると思います。しかし、その歴史について知っている人は少ないのではないのでしょうか。本書はカルピスの創業者である三島海雲の半生を綴った1冊です。カルピスが発売されて100年以上経過しましたが、三島海雲がどのような人物で、どのようにしてカルピスが発明されたのかを、著者が丹念に調べて描いています。日清戦争や日露戦争、辛亥革命等、近代史の事件に直面しながら、時代を生き抜く三島海雲の物語に引き込まれていきます。胸が熱くなる感動の一冊ですので、是非ご一読下さい。

社員教育・管理者教育の事なら
ビジネス教育訓練所株式会社

所在地：仙台市青葉区愛子中央3-16-2
電話：022-392-5511
E-mail：kensyu@business-k.co.jp

研修プログラム紹介コーナー

「会社概要スピーチ」

新卒の学生を対象に会社説明のスピーチを行うというプログラムです。時間は1人15分、自社の魅力が存分に伝わるようアピールしてもらいます。良いスピーチを行うためのポイントは2つで、内容と話し方です。内容面では会社概要を語るだけでなく、聞き手を引きつけるような強みをアピール出来るか、今後の成長性や可能性を示せるかが大きなポイントです。話し方では、一本調子にならず、適度にジェスチャーもつける等、引きつけるような話し方が出来るかがポイントです。管理者が自社の魅力について話せるか否かは、採用面だけでなく部下指導にも直結しています。管理者とは自社を深く理解し、未来を見据えて行動すべき存在だと気付かされるプログラムです。

※管理者実践4日間合宿のプログラムです。

■編集後記／「光陰矢の如し」という言葉がありますが、今年は特に時間が経つのが早いと感じます。コロナの影響で各種行事やイベントが中止となり、暮らしにメリハリがなくなっていることも影響していると思います。何でも無いようなことが幸せだったと思う今日この頃ですが、コロナを初め何かに流される人生よりも、それを受け止めその中で自分らしく生きる道を探りたいものです。(吉田)

「eラーニング」+「集合研修」 HYBRID型研修

e訓練

コロナに負けるな！学ぶ意欲は止められない「e訓練」

■コロナ禍でも学びたい、学ばせたい！

「3つの密を避けましょう！」コロナ発生後は、クラスター（集団）感染のリスクを無くすため、当社でも予定していた研修の延期・中止、自粛をせざるを得ない状況でした。しかし、「少人数だが新人研修をやりたい」「管理者研修の次の開催はいつ？」等の声が寄せられたり、延期していた研修を実施すると参加者からは「実は研修を楽しみにしてました」という人もいて、大変ありがたく元気をいただきました。そして、コロナ禍でも「学びたい」「学ばせたい」というお客様の気持ちに応えたいという思いから、新たな研修開発がスタートしました。

■HYBRID型研修「e訓練」誕生

当社の研修は合宿研修がメインのため、3密を避けるには色々ハードルがありました。コロナに対し十分な対策を立てていても、参加される方によっては「それでもまだ集合研修は不安」と思っている方もいます。お客様が不安を感じることなく、学べる環境がないものかと考えて行き着いたのが、eラーニングと集合研修の融合でした。eラーニングと集合訓練、それぞれのメリットを活かし、コロナ禍でも研修効果上がるように作り上げたのが「e訓練」です。

■オンラインで非対面、コロナ禍でも安心

e訓練は、全てオンライン、非対面で行います。ネット環境が整っていれば、職場や自宅、移動時間等の隙間時間で、気軽にビジネスの基礎を学ぶことが出来ます。「研修には参加したいがコロナが不安」という方にも安心して学んでいただけます。

■ステップアップ式で自分のペースで学べる

e訓練は、課題をクリアしたら次の課題に進むス

テップアップ式です。まとまった時間に集中して取り組むことも出来ますし、1日1課題短時間で少しずつ進めることも出来ますので、自分のペースで取り組むことも出来ます。忙しい方でも隙間時間を使って学ぶことが出来ます。

■やり切るクセをつける目標達成プログラム

e訓練では、有言実行出来る力を身につけるため、目標達成プログラムに取り組んでもらいます。学んだことをベースに職場で実践していく目標を作成してもらい、達成に向けて取り組んでもらいます。定期的に進捗状況について報告してもらい、状況に合わせてアドバイスし、自分でやり切る力が身につくよう支援します。

■ビジネス教育訓練所の新たな挑戦

研修で使用する動画撮影やテキスト作成、テストの解説作成等を通して、普段の研修を見直すきっかけとなりました。新たにスタートするe訓練は私たちにとって新たな挑戦となります。e訓練とこれまでの合宿訓練は別物ですので、得られる効果も違いますが、メニューが増えた分、より多くのお客様の要望に応えられると考えております。今後も私どもの研修をご活用いただけますよう、宜しくお願い致します。



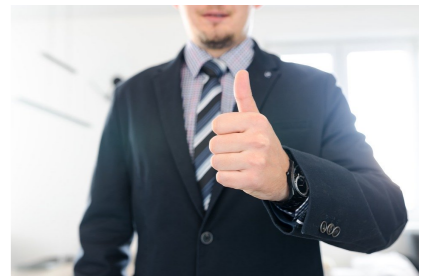
ビジネス教育訓練所オンライン研修
e訓練 ビジネス基礎コース
近日始動！ご期待下さい！

■今後の研修日程

- ビジネス特訓4日間合宿… 9月13日～16日（延長あり）
 - 営業マン特訓5日間合宿… 10月 3日～ 7日（延長あり）
 - 管理者実践4日間合宿… 10月19日～22日（延長なし）
 - 営業マン実践3日間合宿… 11月 5日～ 7日（延長なし）
- ※参加希望の方は事前にお問い合わせください。

eラーニングと集合研修の違い

「使い分け」で差をつける！ 社員教育を効果的に行うために



■eラーニングと集合研修の比較

項目	eラーニング	集合研修
調整の手間	手間が掛からない	日程・場所・講師・内容等、調整で手間が掛かる
学習ペース	自分のペースで出来る	ある程度他の参加者とペースを合わせる必要あり
コスト	コストを抑えやすい	人的・時間的コストが掛かる
実践を伴う学習	不向き	向いている
質問	その場で質問出来ない	分からないところはすぐ質問出来る
フィードバック	他者からのフィードバックがもらえない	講師・他者からフィードバックがもらえる
モチベーション	モチベーションの維持が難しい	モチベーションの向上が期待出来る

新しい生活様式という言葉が定着しつつあり、ソーシャルメディア等、新型コロナウィルスの影響で、我々の生活は大きく様変わりしようとしています。仕事でもテレワークが普及し、研修もこれまでと同じというわけではなく、自社の勤務体系や状況に合わせて研修が必要になって来るでしょう。今回は、その中で集

合研修とeラーニングの違いについて紹介します。そもそもeラーニングとは、情報技術を用いて行う学習や学びの事で、インターネットの普及により、eラーニングも広く知られる様になりました。日本においては、二〇〇一年に打ち出されたe-Japan構想により、幅広い層に注目されるようになってきました。「eラーニングと

集合の比較」の表の項目を見ても分かるように、それぞれに違いがあります。

■メリット・デメリット
企業側にとって取り組みやすいのはeラーニングで、費用が比較的安価で、「いつでも」「どこでも」「何度でも」という点が人気です。最近では多種多様なプログラムが用意され、学ぶ意欲の高い人にとっては嬉しい環境となっています。しかし、eラーニングの場合、不明な点があってもその時に気軽に質問出来なかつたり、自分に対し講師や他者からの客観的な意見ももらう機会がないため、モチベーションの維持が難しいという点もあります。

一方、集合研修は、eラーニングに比べ費用が割高で講師の確保や日程の調整、人選等で手間が掛かります。しかし、実践を伴う学習の場合には、直接指導を受けることが出来、気軽に質問出来るため理解しやすいというメリットがあります。又、他者からのフィードバックも受けられるため、客観的に自分を見つめ直すことが出来たり、他の参加者と関わることで刺激となり、モチベーションの向上も期待出来ます。



社員教育に関するお悩み・ご相談は是非とも当社までご連絡下さい。

■研修で伸びる企業の共通点
eラーニングと集合研修の違いを解説してきましたが、最後に研修で伸びている企業の共通点を二つ挙げます。

一つ目は研修後のフォローをしっかりと行うということです。先輩や上司がフォロー面談を行い、今後会社でやりたいことや達成したい目標をヒアリングし、それを後押ししています。又、フォロー面談も定期的に行い、効果の定着を図る努力をしています。

二つ目は、複数の研修を上手に利用している点です。目的や状況に応じ、eラーニングと集合研修を使い分け、効果が上がるよう計画的に実施しています。

「年間の教育費は、売上の一パーセントを掛けるべき」と言われていますが、教育の差が人材の差となり、業績の差となって現れます。中長期的な視点を持って計画的に人材育成を行っていきましょう。（佐藤）